

## 第4章 天浜線（西鹿島～新所原）

### 第1節 旅プラン

平成29年11月3日（金）から5日（日）にかけて、豊橋を軸として、次の路線を歩く。  
お蔭様で天や神のご加護があり、3日とも小春日和に恵まれ、いいコンディションでウォーキングをすることができた。感謝あるのみ。



天竜浜名湖鉄道（天浜線）とは

○11月3日（金） 天竜浜名湖鉄道（西鹿島～気賀：営業キロ16.3km）

東海道本線踏破の際に利用したダイヤで掛川駅まで移動する。

南林間（5時1分）→藤沢（5時33分）・・・小田急線

藤沢（5時49分）→小田原（6時21分）

小田原（6時22分）→熱海（6時45分）

熱海（6時49分）→掛川（8時52分）

掛川（8時58分）→西鹿島（9時58分） “ ” ‘天竜浜名湖鉄道

○11月4日（土） 飯田線（本長篠～豊川：営業キロ23.4km）

○11月5日（金） 天竜浜名湖鉄道（気賀～新所原：営業キロ22.9km）

今回の歩きで、特筆すべき点は、3つ。一つは、天竜浜名湖鉄道である掛川～新所原（67.7 k m）と遠州鉄道である西鹿島～新浜松（17.8 k m）を所要日数4日間で踏破したこと。二つ目は、偶然にも本年大河ドラマで舞台となった鉄道沿線（気賀、長篠など）を歩いたこと。三つ目は、年間営業キロ500 k mを昨年に引き続きクリアしたこと（只今現在514 k m）。首都圏や関東エリアは大半が終わっているため、日本海側や関西圏などに遠征が必要となる。路銀と時間の調達で大変・・・。



掛川駅

新所原駅  
天浜線踏破の瞬間！！

しかし、失敗もあった。一つは天浜線の常葉大学前と飯田線の鳥居駅をうっかりして通り過ぎたこと。これまでの傾向では簡単な駅や駅間隔が短いなどで多々発生している・・・。今回も同じような事例であった。二つ目は、気賀～西気賀の区間、日没したこともあり鉄道の路線がある左右を誤り、再度気賀に戻ったこと。昨日までは原因が不明であったが、11月5日の検証でそのミスが明らかになりすっきりする。交差点を右折すべきところを直進したのが大きな原因。

今回の歩きで通算営業キロは9,346 k m（活動日数465日）で目標の1万キロまで654 k mとなる。詳細は以下の通り。

## 第2節 一日目：11月3日（金）：西鹿島駅～気賀駅 晴れ

西鹿島(10:05)～岩水寺(11:02)～宮口(11:39)～フルーツパーク(13:35)～  
都田(14:03)～常葉大学前(?)～金指(15:32)～岡地(15:56)～気賀(16:31)

平成29年11月3日（金）からの3連休（2泊3日）を活用し、天竜浜名湖鉄道（元国鉄：掛川～西鹿島～新所原：営業キロ67.7km）と飯田線（本長篠～豊川）に挑戦する。豊橋駅にあるホテルをベースにした関係で中日に飯田線を挟む日程で臨む。ジパング倶楽部の活用に加え、費用を極力抑える関係で往路は在来線で、復路は新幹線（浜松～小田原：こだま）を活用しての旅とする。すなわち、往路はJR藤沢駅を5時49分発の電車で乗り継いで、天浜線の掛川そして西鹿島まで向かう。途中懐かしい駅舎が登場する。一例として、日本一ベンチの長い”原谷駅”・・・。



JR 藤沢駅

天浜線掛川駅

3年前に掛川～西鹿島（28.5km）は踏破済のため、今回の天浜線の旅は西鹿島から新所原までの39.2kmの区間。当初は西鹿島から24.8km先の都筑辺りを計画していたが、鉄道に沿ってない道なき道が多々登場した関係で大幅な減となる。すなわち、11月3日（金）の行程は、西鹿島～岩水寺～宮口～フルーツパーク～都田～常葉大学前～金指～岡地～気賀（16.3km）。

到着時間は次の通り。天浜線に掛川で乗り換えるや否や戦国武将が登場する車両（単線の1両）となる。織田信長、お市の方、大谷吉継、前田利家、浅井長政、前田利家、井伊直虎、井伊直政・・・。

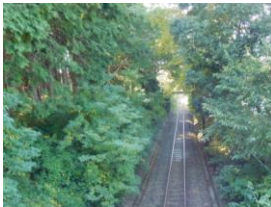


西鹿島駅

道なき道

西鹿島駅 (10時5分)

数年前に踏破した西鹿島駅にも関わらず、出口で少し戸惑う。10時12分、遠州鉄道と天浜線の踏切を横切る。10時19分、天浜線を横切り線路の左側となるが、遠州鉄道の車両を見つけ引き返す。ここから何人もの人のお世話になりながら、道なき道を歩く。10時31分、御馬ヶ池雨水貯水池前を通過。10時43分、於呂神社境内を歩く。10時52分、幅1m位のトンネルを越えて鉄道の上に出る。11時2分道路下を潜る。そしてやっと本日最初の岩水寺駅 (11時8分) に到着する。



道なき道

岩水寺

ここからは鉄道に沿って右側を歩く。11時35分、鉄道下を横切り左側となる。その先に宮口駅 (11時39分) があつた。



宮口駅への路

宮口駅



宮口駅からフルーツパーク駅までの道のりも、疑心暗鬼で必至に歩く。4名の方のお世話になりやっと到達できる。11時45分、鹿王小学校前を通過。山間の方に進路を変更する。12時7分、果汁園の中で、一番目の人の道筋を聞く。200m位先に1両編成の列車を瞬間的に見かける。前方は山間のため、回り路を教えてもらうが、鉄道からどんどん遠くなる道筋であった。それ故、修復に苦勞する。12時22分、浜北区から北区となる。ここから暫く歩いた先で二人目の方（主婦）に聞く。このまま直進すれば行けるとのことであった。しかし、線路が全く見えず右往左往する。長年の勘で邁進する。12時45分、第3の人にお伺いする。「まだ、30分～40分はフルールパーク駅までかかるよ。兎に角真っ直ぐ進んで下さい」と……。13時10分、浜松市農業バイオセンター前を通過。13時13分、浜松フルーツパークが1.5km先にあるとの表示を見つける。暫く歩くと交差点に到達。この交差点を左折すべきところを右折する。フルーツパーク方面に500m位歩いた先で第4のドライバーの方にお伺いする。「反対方向に進んでいますよ。交差点を左折して100m位下った先で線路にぶつかります。その線路の先に駅があります」と教えて頂く。13時25分、交差点に到達。そして、ご指導頂いた先にフルーツパーク駅があった。いつの間にか線路を越えて右側を歩いていた。線路が見えないはずである。本日歩く道筋は鉄道に乗っていない線路なので止むを得ないだろうが……。捨て猫が「ニヤンニヤン」と餌を求め鳴いていた。



フルーツパーク駅の路とその駅



フルーツパーク駅 (13時35分)

13時41分、152歩ある大明神橋を渡る。200m位先の陸橋を掛川方面の列車が通過して行く。フルーツの路（国道362号）を進む。13時56分、三ヶ日19km、細江8kmの道路標識前を通過。しかし三ヶ日は地図にあって記憶があったが、細江のいう地名はまったく不

案内。近くに遠鉄藤渕バス停があった。14時、都田体育館前を通過。その先に、高校先輩からお薦めカフェがある都田駅があった。この駅で遅い昼食を摂る。人気があるのか沢山の客がいた。待ち間を活用して、色んな角度から店をデジカメに収める。上り下りの電車が到着する。10人位の女性のグループが下車し、カフェにやってくる。30分位、休息し次の駅を目指す。



都田駅

都田駅（14時3分）

14時34分、鉄道下を潜り（三ヶ日まで18km地点）、線路の右側となる。暫く山越えとなる。15時5分、瀬戸渕橋を通過する。15時8分、左手列車と対面する。15時11分、初山宝林寺前を通過。浜名湖「湖北五山」と記した看板と初山宝林寺をデジカメにおさめるため、5分程度足を止める。目指す常葉大学前駅は後で類推したところこの界隈にあったと思われるが、残念ながら未踏破となる。



常葉大学前駅（未踏破）への路

初山宝林寺

常葉大学前駅（未踏破）

所定の時間を過ぎてても到着しないと思えば、常葉大学前駅ではなく金指駅であった。直虎のアニメがあった。



直虎の旗



金指駅

金指駅（15時32分）

15時39分、明日歩く新城への道路標識があった。15時50分、浜松市消防局の訓練ビル前を通過。物差しのような階段が印象的であった。道なりに歩いた先に岡地駅があった。



浜松市消防局



岡地駅

岡地駅（15時56分）

16時3分、大河ドラマ館への案内板を見つける。16時8分、131歩ある清水橋を横切る。この辺りから迷路に入る。16時16分、細江神社前を通過。16時29分、上堀橋を渡る。方向性を誤り右往左往する。数人の方のお世話になり、やっと、赤いトレードマークの気賀駅に到着する。念のため、西気賀駅方面をお伺いする。予想通り、反対の道筋に目指す駅があった。



大河ドラマの看板一杯



上堀橋



気賀駅



気賀関所

気賀駅（16時31分）

辺りは日没で暗くなりかけていた。15時52分、葭橋を渡る。200m位先に左手に線路を確認する。16時57分、道路標識があるが暗くて見えず。後で確認したところ、ここでの未確認が敗因では……。17時、下気賀の交差点に到達。「お手てつないで」の童謡を聴く。交差点先にはKグーグルのコンビニがあったが、先を急いでいたためパスする。これが大きな失敗を招く。17時7分、大坪橋を通過する。17時16分、気賀関所の案内板がる。辺りを見る限り、前方には山があり、浜名湖が見える方向ではないのでは・・・と。疑心暗鬼の道中となる。17時27分、線路を横切り、線路の左側となる。ここで犬を散歩させている方に「西気賀駅は近いですか」と。しかし、想定外の答えでビックリ。「西気賀駅は遠いが、気賀駅はその先にあります」と。やはり、道を誤ったかと悟る。17時40分、再度気賀駅に到着。運よく、17時41分の列車にて新所原駅経由で豊橋駅にある第一ホテル（2507号）を目指す。ホテルには19時2分到着。豊橋駅構内にあるそじ坊で夕食とする。本日の営業キロは16.3km、万歩計は49,296歩であった。道に迷う醍醐味のある一日であった。





気賀駅



新所原駅



第一ホテル

このうち、初山宝林寺界隈にあったと思われる”常葉大学前駅”の立ち寄りに失敗する。その他はお蔭様で迷路また迷路に入りながらも、地元の人々の応援やこれまでの17年半の歩きで培った第六感で対処できる。

それにしても西鹿島から岩水寺までの1.8kmの行程は道なき道を歩いたものだ。また、宮口からフルールパークまでの3.9kmの行程は、山間かつ非電化であることもあり、歩いても歩いても線路が見えず疑心暗鬼で必至に歩いた。いつの間にか線路が右手から左手になっているのにはビックリ。目と鼻の先に、目指すフルーツパーク駅があるにも関わらず、誤って1km位先の浜松ブルーツパークの方向に進もうとしていた。地元の人に助けられホットする。方向音痴の私がここまで”こだわり鉄道つたい歩き”ができたのは地元の人のご支援またご支援があればこそ……。日本縦断をはじめとする種々の路線を踏破できた大切な秘策のひとつを思い出す瞬間であった。3つ目は、冒頭でもご紹介した通り、気賀から西気賀までの行程で、日没のため線路の方向を誤ったため再び気賀に戻るという事態となる。気賀関所が登場したので、ひよつとすると誤った路筋に来たのではと思っていたが。地元の人に助けられて迷路から脱出できる。4年半前の肥薩おれんじ鉄道の日本一長い駅名である”たのうら御立岬公園駅”を思い出した。この時も上浦駅を目指す際、海岸と山間を一周してもとの位置に戻った。今年の新潟駅に向かう際にも。懐かしい限り。

一方、苦勞して踏破したフルーツパークにいた愛嬌ある猫の鳴き声や高校の先輩のご紹介で駅舎に粹なカフェがある都田駅は疲れた体を癒してくれた。気賀駅では再度戻るケースになったが、これは歴史の町”気賀”を天や神からももう少し鑑賞すべきとお叱りの沙汰であったかも……。ここでも美空ひばりの愛燦燦が登場する「人生って不思議なものですね」を強く感じた。

気賀駅では運よく1~2分の待ち合わせで新所原行きの列車に乗ることができる。豊橋西口にある第一ホテルへ。夕食は、ホテルの推奨の“だいだいや”に立ち寄るが、生憎満席で断念。やむを得ず、豊橋駅舎の中にある、そじ坊で祝杯をあげ、一日目は閉幕となる。

### 第3節 二日目：11月4日（土）：本長篠～豊川 晴れ

飯田線のため割愛。

### 第4節 3日目：11月5日（日）：気賀～新所原 晴れ

気賀(8:15)～西気賀(9:17)～寸座(9:53)～浜名湖佐久米(10:13)～東都筑(10:39)～都筑(11:07)～三ケ日(11:46)～奥浜名湖(12:30)～尾奈(12:53)～知波田(14:29)～大森(15:07)～アスモ前(15:45)～新所原(16:33)

平成29年11月5日（日）の歩きは、一昨日夕方歩いた気賀から西気賀までの2.9kmの区間コースを検証することから始まる。東横イン（東口）で6時半朝食を済ませ、豊橋駅7

平成29年11月5日（日）の歩きは、一昨日夕方歩いた気賀から西気賀までの2.9kmの区間コースを検証することから始まる。東横イン（東口）で6時半朝食を済ませ、豊橋駅7時11分発の電車（静岡行き）で新所原まで行き、再度天竜浜名湖鉄道で7時37分の電車に乗り換え昨日ウォーキングをアップした気賀駅（8時15分着）に向かう。そこからどこで誤ったかの検証を始める。一昨日とは大幅に歩くコースを変えて臨む。すなわち、気賀から数分歩いた先の浜松市立細江中学校から踏切を横切り線路の左側（一昨日は終始右側？）を歩くコースで臨む。



豊橋駅

天浜線の新所原駅

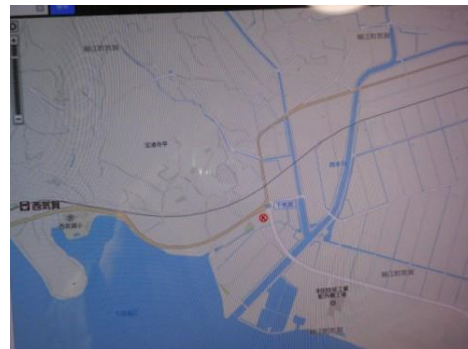


新所原駅（掛川行き）

気賀駅



気賀駅



気賀界隈の観光地

下気賀界隈の地図

一昨日見覚えのある下気賀の交差点（8時56分：約2km通過地点）に到達する。交差点にはコンビニがあった。線路は今歩いている地点を直進した先にあったが、一昨日は直進した方向が左折となっていた。ここでコンビニに立ち寄って道筋の確認も考えたが、少しでも早く着きたいという心境から先を急いだのが大失敗。”急がば回れ”の諺通りであった。



西気賀駅への路



下気賀交差点

大きなミスは”天浜線踏破その1”でもご紹介した通り、途中で道路が線路上を通過するのを見逃した事。それが本日の歩きで解明できホットする。同時にまだまだ徘徊のレベルでないことがわかり安堵する。地図で確認したところ、天や神のご加護を得て、偶然にも気賀駅に戻れてラッキーであった。このままミス発生への察知がなければ限りなく鉄道路線がない湖東方面に進むところであった。最近の歩きでは、非常に醍醐味ある区間であった。なかなかこのようなメークドラマは味わえないだろう・・・。

浜名湖が9時4分前方に見えて来る。そして、駅舎に粋なレストランをもつ西気賀駅には9時17分到着。今、思うことがある。このようなピストン区間となったのは、「歴史の町”気賀”をゆっくり眺めなさい」と天や神のご命令と。また、平成16年7月31日(土)日立界限を歩いている際にも、私が高松一高関東桜紫会の会計幹事をした関係で携帯にて「夕方臨時部会に参加してもらいたい」との依頼がある。それで途中であったがきりのいい日立で歩きを断念(15時頃)し新宿に引き返す。この地は平成10年に他界した弟がお世話になっていただけに、「兄貴日立をゆっくり眺めて」の場面を思い出さざるを得なかった。ここでも美空ひばりの愛燦燦の”人生って不思議なものですな”を思い出す機会を得る。



西気賀駅近し



西気賀駅





引き続き、西気賀駅から新所原駅までの経路は次の通り。西気賀～寸座～浜名湖佐久米～東都筑～都築～三ヶ日～奥浜名湖～尾奈～知波田～大森～アスモ前～新所原（営業キロ20.0 km）。



気賀～新所原マップ

西気賀から知波田までは浜名湖に面したウォーキングで風光明媚な箇所が多々登場する。西鹿島から西気賀までの風景とは全く異なっていた。駅舎に一昨日の都田駅に続き、レストランやカフェがあるのには驚いた。西気賀駅、浜名湖佐久米駅、都築駅、三ヶ日駅にあり。また、駅舎に面して、象や乳牛などユニークなトイレも印象に残った。また、尾奈駅から知波田駅にかけての湖畔での水上スキーも印象に残った。更に、東都筑駅から都築駅にかけて、三ヶ日みかん（100円）の無人店舗も。



寸座駅 浜名湖佐久米駅

9時25分、沢山の小船が湖畔に沿って停まっていた。立ち寄ってもよい食事処が沢山東上する。9時39分、浜名湖展望公園入口前を通過。9時43分、遠鉄寸座バス停前を通過。寸座駅近いと察知する。9時48分、鉄道下を潜り線路の右側となる。その先に、湖畔に面して寸座駅（9時53分）があった。もう少しで通り過ぎる可能性がある駅前であった。10

時6分、佐久米東バス停前を通過。もしかすると浜名湖佐久米駅を撮り過ぎたのではないかと心配になる。運よく若いカップルと出会い、「浜名湖佐久米駅は近いですか」と問いかける。「その先にあります」との回答を得安堵する。10時13分、喫茶と食事の店“かたれあ”をもつ浜名湖佐久米駅には10時13分到着。



東都筑駅 無人店舗 100円みかん

10時21分、高速道路下を潜る。引き続き、鉄道下を潜り線路の左側となる。暑くなったので、上着の下に着たセーターを脱ぐ。10時29分、佐久米峠バス停前を通過。10時33分、みかん狩りの看板を見つける。10時38分、みかん型のトイレがある東都筑駅には10時39分到着。10時43分、かんぼの宿を見つける。10時45分、無人店舗で100円三ケ日みかんを購入。



交通安全のポスター 都筑駅（小学生の団体と会う）

10時50分、都筑バス停前を通過。そして、交通安全の壁面前を通過。この辺りの交差点で十字路があり右往左往する。引き返す場面もあったが、通行人の方から確認を得て正しい方向に進んでいた。11時7分、朝電車の窓から手作りのパン屋“メイホップ”がある都筑駅には11時7分到着。この駅には象をかたどったトイレがあった。この駅で小学生の団体と出会う。11時14分、鉄道下を潜り、線路の右側となる。道路下には湖畔に沿って民家が広がっていた。11時46分、三日日駅に到着する。気賀駅に次いで賑やかな駅前であった。駅舎には三ケ日牛バーガーの店があった。



三ヶ日駅（賑やかな駅前だった）

豊川・豊橋方面の道路

この駅の限界で20分ロスタイムがある。豊川・豊橋方面に誤って進むところであったが、地図と辺りの風景からミスと気付く。つまり、11時56分、107歩ある高橋（釣橋川）を渡る。12時8分、誤った方向に進んでいると気付き聞き返す。釣橋川に沿って歩くが、行き止まりで進めず。元の道路に戻り高橋を渡り、三ヶ日駅前の交差点（12時11分）まで引き返す。12時13分、線路を横切り、鉄道の左側となる。289歩ある三代橋を渡る。12時30分、奥浜名湖に到着。そして、尾奈駅には12時53分到着。



釣橋川沿いの道筋

奥浜名湖駅

尾奈駅

12時56分、63歩ある神田橋（S54年10月竣工）を渡る。この橋で釣り人の姿があった。13時7分、沢山の小船がある前を通過、13時13分、奥浜名湖“三ヶ日温泉”前を通過。13時16分、ヤシのある通りを通過。13時17分、浜名湖レークサイドウェイを通過。97mある瀬戸トンネル（155歩）を通過すると、浜松市から湖西市となる。13時23分、モーターボートと水上スキーの姿がある。暫くこの光景が続く。13時24分、国道301号線（湖西市横山）を通過する。13時39分、バックミラーで自画像を捉える。14時12分、鉄道下を潜り、線路の右側となる。14時23分、28歩ある今川橋を渡る。14時29分、駅舎に歯医者がある知波田駅に到着。



瀬戸トンネルを抜けると浜松市から湖西市に、水上スキー、知波田駅（駅に歯医者あり）

14時38分、線路の上を越え、鉄道の左側となる。山間が続き、右折すべき交差点に注意深くなる。14時51分、湖西中学校前を通過。14時52分、右折すべき交差点が見えて来る。交差点を曲がった先に若磯神社（14時53分）があった。14時55分、鉄道下を潜り線路の右側となる。知波田駅からここまで鉄道沿いを歩いているとはビックル。地図のイメージとかけ離れていたからだ。45歩ある好安寺橋（入出太田川）を渡る。ここでベビーカーを押している主婦の方に「大森駅は真っ直ぐ行って行けますか」と尋ねる。「行けますよ」と回答があり安堵する。



大森駅への路（天浜線を潜る）

大森駅

15時7分、通り過ぎないように確認のため曲がった先に大森駅があった。鉄道を越えて線路の左側にあった。駅舎にいた高校生に「アスモ前駅は踏切を渡らずに行けますか」と尋ねる。「鉄道に沿った道なりで行けます。少しややこしいですが」と。この回答を貰い安堵する。少なくとも、踏切を横切って歩いていたら川があり行き止まりの可能性もあっただろうと。胸をなで下ろす。15時15分、右手に田圃が続く路を歩く。15時21分、変電所前を通過。15時23分、上り列車と対面する。15時45分、ここでも地元の方のお世話になり、アスモ前駅に到着できる。道路から50m位先に公衆電話があったが、地元の方のご支援がなければ、この駅は未踏破となっていただろう。





アスモ前駅

15時57分、山神神社でこれまでの駅舎踏破のお礼などを報告する。16時12分、鉄道が道路下にあった。鉄道の右側となる。16時33分、天浜線の終着駅新所原駅に到着する。在来線（16時33分掛川発）と17時21分浜松発のこだまを乗り継いで自宅へ。自宅には20時20分到着。新幹線の中で祝杯をあげる。本日の営業キロは22.9km、万歩計は45,465歩だった。充実した3日間であった。



山神神社

新所原駅

三ヶ日駅で道を誤り、豊川・豊橋方面に向かうが、周りの風景から判断し、引き返す事態が発生する。また、釣橋川に沿って歩くが行き止まりとなり、再度原点の三ヶ日駅に引き返す事態となる。加えて、浜名湖の鰻を堪能したいと思ったが、食べたい時間帯に店がなく残念な結果となった。大森駅の踏破に際しては山間が続き相当難しいと感じたが、ラッキーにもうまく対処できる。朝電車の窓から新所原手前のアスモ前駅は難しいと思ったが、その通りであった。沿道の人にグッドタイミングで対面でき「アスモ前は近いですか」と尋ねたのが功を奏した。200m位通り過ぎていたが、無事対処できる。

今日も随所で沿道の方のお世話になり、16時18分、天浜線の終着駅である新所原駅に到着できる。これで、平成26年8月からの歩き区間（掛川～西鹿島）とつながり、天浜線67.7kmは踏破路線の仲間入りとなる。ここ数年の案件路線がクリアしホットする。車両、駅舎、沿道の各地で、天浜線は本年の大河ドラマ”おんな城主直虎”一色であった。同時にお客様目線を重視した路線であると……。感動、感激、感服！！一方、歩きの面から考えると、天浜線は非電化路線ゆえ、鉄道が木々などに隠れ迷路となる箇所が随所に登場し、戦略的にも面白い路線であった。



在来線（新所原駅）と新幹線（浜松駅）を乗り継いで自宅へ

ここから浜松まで在来線、浜松から小田原まではこだまで。そして、小田原から在来線に乗り継いで自宅へ。新幹線は3連休の最終日ということもあり満席状態であったが、無事席を確保でき祝杯をあげる。